熊本野生生物研究会 40周年シンポジウム

輝け カモシカの未来

くまもとの森から私たちができること

オンライン
同時開催
こちらから入れます

日時　2025年11月9日(日)

受付開始 12:00　開会 13:00　閉会 16:30

会場　熊本市動植物園　緑の相談所2F　学習ルーム

熊本県熊本市東区健軍5丁目14−2　電話:096−368−4416

10月4日(土)より
動植物園正門入り口にて
「カモシカシンポジウム特別展示」開催！

申し込み不要・入場無料

どなたでもお気軽にご入場いただけます！

但し、本会で得られた情報をご利用の際は事務局へご一報下さい。

【主催】熊本野生生物研究会　共催:熊本市動植物園
お問い合わせ　事務局長　天野　守哉
電話:090-4350-0882　✉:jimukyoku@kumayaken.org

熊野研 HP　熊野研インスタ

【後援】熊本県 / 熊本県教育委員会 / 熊本市教育委員会 / 環境省九州地方環境事務所 / 林野庁九州森林管理局 /（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所九州支所 /（公財）再春館「一本の木」財団 / 熊本県自然保護関係団体協議会 / 熊本日日新聞社 / KKT / NHK 熊本放送局 / RKK

プログラム

遊びに来てね

12:00　受付開始・オープニングアクト

あそぶ

遊んで学べる！
・カモシカすごろくゲーム

えかく

・カモシカを見て、知って描いてみよう

みる

・カモシカの実物（剥製）
・熊本の野生生物写真
・高校生の研究ポスター
など

もらえる

・カモシカリーフレット

コーダ・ヨーコさんコラボ
・カモシカステッカー

13:00　開会　開会挨拶・活動紹介　坂田 拓司（会長）
13:20　基調提案　遠藤 晃（南九州大学教授）「対話と探究で創るカモシカの未来」
14:00　事例報告
（1）九州の国有林の植物　城戸 美智子（九州自然環境研究所主任研究員）
（2）シカとカモシカの現状　安田 雅俊（森林総研九州支所森林動物研究グループ長）
（3）野生動物保全と動物園　松本 充史（熊本市動植物園園長）
（4）カモシカ保護行政の取り組み　花田 杜綺（熊本県教育庁文化課主任学芸員）
14:50　休憩
15:10　パネルディスカッション・質疑応答
進行：長尾 圭祐（副会長）、坂田 拓司
パネラー：遠藤 晃、城戸 美智子、安田 雅俊、松本 充史、花田 杜綺
中園 朝子（九州自然環境研究所代表取締役所長）
16:25　閉会

カモシカを守るために〝私たちができること〟

カモシカ（ニホンカモシカ）は**特別天然記念物**です。九州・四国・本州に生息しています。九州では、熊本県・宮崎県・大分県の３県で生息が確認されています。2019・20 年度の特別調査の結果は、九州全体で総数約 200 頭（熊本県内約 40 頭）という驚くべきものでした。1994・95 年度の約 2200 頭に比べて **10 分の 1** です。教室に 40 人いた生徒がたった 4 人に減ったのと同じ状況です。これらの最大の理由は、シカの増加により餌となる草や低木が元々の生息地で激減していることです。疥癬（かいせん）という皮膚病もあります。加えて人間の活動も大きく関わっています。シカ対策の罠やネットにかかってしまう事故も毎年報告されています。**このままでは、近い将来のおける絶滅が必至です。**現在、国や県の法令で守られていますが、死亡個体を減らし、出生数を増やすための積極的方策は模索中です。行政と地域住民、専門家が連携して保全活動を続けることが何より求められています。それを後押しするのは私たち県民の声です。

カモシカの未来は私たちの意識や行動にかかっています。

カモシカの保全三原則を是非よろしくお願いします。

カモシカの保全三原則

- 関心を持つ
- 連絡する
- 救助する

カモシカを見かけたら、すぐ連絡を！

熊本県文化課
TEL：096-333-2706
✉：bunka@pref.kumamoto.lg.jp

情報提供求む！

カモシカシンポジウム特別展示（内容）
・野生のカモシカ動画（自動撮影カメラ映像）　・熊本の野生動物写真　・本会オリジナルカモシカ顔出し看板
・不知火美術館企画展「いきて　いる」ワークショップ　カモシカイラスト作品　など
10 月 4 日（土）に限り、本会員による解説付き「カモシカワークショップ」も開催予定！

開催情報は、動植物園 HP または SNS にてご確認下さい。

このシンポジウムは、現在、公営財団法人再春館「一本の木」財団の助成金を受けて開催されます。